

## 〔生物学、医療〕

レーザドップラ振動計は生物学や医療分野でもご利用が可能です。

レーザ光を数  $\mu\text{m}$  まで絞りピンポイントで生物器官の動きを観察したり、鼓膜のようにセンサの取付が困難な部位の振動を測定することができます。

レーザ光の出力は1mW未満であり、目の嫌悪反応(瞬き動作)により目の保護がなされるクラス2(JIS C 6802)に適合しています。

### 『対象例』

医療(超音波装置)、超音波スケーラ、鼓膜、体表振動、歯、生物器官 等

### ハエ感覚器官の挙動測定



音を聴かせたときの感覚器官の挙動をピンポイントで測定

### 歯科用超音波スケーラの振動測定



超音波医療器の振動をピンポイントで測定

#### 測定システム構成例

顕微鏡型レーザドップラ振動計  
KV100-S TYPE-D

顕微鏡対物レンズ 10×倍

XYZ微動ステージ

映像表示モニタ

オシロスコープ

#### 測定システム構成例

レーザドップラ振動計  
V100-LM TYPE-D

オシロスコープ